

2014年6月23日

枚方医薬品物流センターで発電事業開始

伊藤忠ロジスティクスは、枚方医薬品物流センター(大阪府枚方市)の屋上部分を有効活用した発電事業を6月23日から開始しました。

倉庫屋上部での太陽光発電は、社会に電力を供給すると同時に、外気温に影響される倉庫内温度の変動を抑制する省エネ機能を持ちます。

当社の医薬品物流センターは厳密な温度管理を行いますが、それは同時に保冷、空調機器等の使用による電力消費を宿命づけられます。地球規模での省エネが求められる中、この宿命と、いかに立ち向かうか？ 当社は「太陽光発電」にその答えを求めることにしました。

当社の考えにご賛同頂いた伊藤忠グループの中央設備エンジニアリング様、戦略的パートナーである中国「杉杉集団」傘下のUlica Solar様、そして、何よりも当社に物流業務を任せて頂いているお客様のご理解、ご協力のもと、今回、太陽光発電事業をスタートすることができました

当社は環境対策の一環として、倉庫屋上部分に太陽光発電設備を設置、自ら再生可能エネルギーを生み出すことにより、環境負荷の低減に今後も努めてまいります。



太陽光パネル設置全景

太陽光発電の概要

発電能力 : 680kW
年間予想発電量: 663,123kWh
(一般家庭 200 世帯の年間消費量
に相当)
モジュール: Ulica Solar
(TUV 品質認定取得)
施工・保守:
中央設備エンジニアリング(株)

[枚方太陽光発電プロジェクト・リーダーに聞く]

氏名:三村暁洋

所属:伊藤忠ロジスティクス(株)医薬品物流部

入社:2003年4月

年齢:34歳

趣味:ラグビー



質問. 太陽光発電事業を発案したきっかけは？

私は、医薬品物流を担当しています。医薬品という温度管理の徹底が必要な商品を取り扱う為、倉庫内温度には常に注意を払っています。冷凍庫、冷蔵庫は言うに及ばず、通常の保管スペースも空調を入れていますので、夏場の電気代はかなりのものです。そんな時、屋上に太陽光パネルを設置すると「倉庫内温度が夏涼しく、冬暖かい」という話を聞き、興味を持ちました。

質問. 政府による「固定買取制度」がきっかけなのではないのですか？

お恥ずかしい話しですが、「固定買取制度」について知ったのは、その後で、前に述べましたように「夏場の倉庫内温度を下げるには？」というのがきっかけです。但し、政府の「固定買取制度」が無ければ、実行には至らなかったと思います。

質問. 苦労した点をお聞かせ下さい。

検討段階で、パネルメーカー、施工会社、コンサルなど様々な会社から提案を受けました。でも「いくら儲かります。」「投資効率は・・・」「節税効果は・・・」という提案が多く、それはそれで勉強になりましたが、自分の「きっかけ」とは少し違うと感じ、結局、何から何まで、自分で計画を立て、実行するという羽目になったことです。早い話ですが、どこかの会社「丸投げする」ことをしないで、自分で細部にまで関与したので、苦労の連続でした。

質問. 細部までの関与とは具体的にどのようなことですか？

分別発注の追求です。太陽光発電は、モジュール(太陽光パネル)、その他機器、工事、保守管理から構成されますが、それら一つ一つの機能、コストに自ら目を光らせました。今回、太陽光パネルは伊藤忠商事の戦略的パートナーである「杉杉集団」傘下の Ulica Solar 社から購入、工事、保守管理は伊藤忠グループの中央設備エンジニアリング社にお願い致しました。当社の趣旨を良く理解頂き協力頂きました。お陰様で、日本で一番低コストで、高性能な設備に仕上がったと自負しています。

質問. 竣工した時の感想は？

竣工日の大阪枚方の天気は晴れ。接続と同時に、予想出力を上回る発電量が出た時は、涙が出るほど嬉しかったです。毎日、気象庁発表の日照時間のデータと出力データを見て、喜びをかみしめています。但し、これから先、二十年近い長丁場、気を引き締めてまいります。



発電量に一喜一憂

質問. 今後の展開は？

枚方以外の当社の倉庫の屋根には、条件が許す限り太陽光発電設備を設置していきたいと考えています。また、同業者の物流会社さんからも経験談を聞かせて欲しいとの話も来ていますので、そちらに対しても、積極的に相談にのるつもりです。それが自分の務めだと考えています。

【本件に関するお問い合わせ窓口】

伊藤忠ロジスティクス株式会社

医薬品物流部

三村暁洋

e-Mail: mimura-a@ilogi.co.jp

以上